

令和5年(2023年)9月29日 (金曜日)

御堂、石仏清掃や礼拝

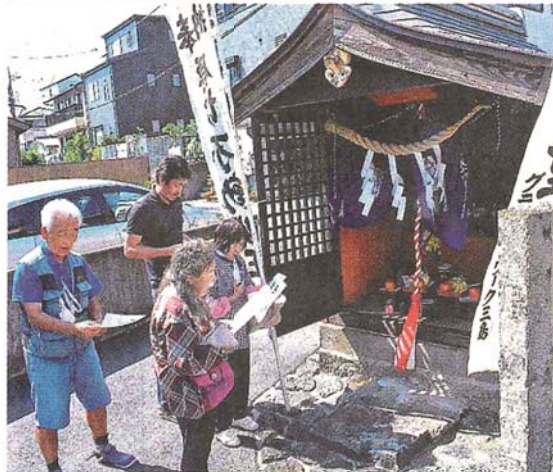
GW三島 腰切不動尊で例祭

三島市のNPO法人「加者は例祭ののぼり旗グラウンドワーク三島」を立て、御堂の内外を(GW三島)は28日、清掃し、石仏をきれい同市南本町にある腰切不動尊で9月例祭を開いた。同NPO関係者や地域住民数人が参加し、御堂の清掃や礼拝を行った。

同NPOが、毎年5月に大祭、1、9月に例祭を行っている。参

「地域の大切な行事なので今後も長く続けていく」と話した。

腰切不動尊は、1633(寛永10)年に、御殿川の水車場の川底



声をそろえて読経する参加者＝三島市南本町

から見つかったと伝え

られている。腰から上だけの石仏で、安産や腰から下の病にご利益があるとされ、信仰を集める。